

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年1月29日

配布数

回収数 7

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール京都西院

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	1	0	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	・2名の利用なら十分、それ以上だと狭く感じるため、その都度机や遊具の位置の調整をしている。 ・活動によっては狭く感じる事があるが、指導員間で相談し、遊具の数や配置で調整している。 ・個室等も利用し、スペースを確保できている。	・現在1枠2名で時間割を増やすなどして、十分なスペースを確保出来るよう、検討してまいります。 また基準に則ったスペースであるため、引き続き安全を確保しながら療育質や個室を十分に活用し、今後もプログラム内容を考慮し支援させていただきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・使用しないものは見えないところに片付けられており、集中しやすい空間になっている。物を置く場所が決められており、分かりやすい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・ポイントを絞った振り返りを全職員が意識し、共有時間をしっかりと設け、療育につながりをもたせている。 ・セッションごとの振り返りで、設定したねらいに対しての評価を行い、次のセッションに活かしている。	・京都西院校では専門の資格も持った指導員が、スクール内研修を行なうことにより、スキルの均一化を目指しております。こういった取り組みにより少しでもお子様の成長のサポートをさせていただければと存じます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・取り外しホワイトボードによる予定確認にしたことで待ち時間が減り、時間を有効に使えるよう工夫した。 ・保護者から振り返りの際に意向などをお聞きした際は、全体で共有し改善策を考えている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	・結果をスクール内に掲示しているが、会報は発行していない。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・今年度から確保できるようになったと思う。 ・社内研修のみならず、外部研修への参加がしやすくなった。 ・今年度は研修に参加することになった。 ・スクール内で資格を持った指導員を講師とした研修など行っている。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・担当指導員だけでなくスクール全体で行い、特に専門職員の分析を生かして作成することができている。	・グループのニーズを把握、支援計画にも必要に応じて記載を行なっております。 ・感覚調査票を活用し、客観的指標の一つとして成長を把握しております。 指導員間でガイドラインなどの認識に差がないよう、研修を実施してまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0	0	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	・現在の課題やできるようになったことなどを、様々な面から把握するための用紙を作成し、カンファレンス時に使用している。	
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	1	0	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%	・児童発達支援ガイドラインについてあまり詳しくない。	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・支援計画に沿って、専門職員からの助言を踏まえた月目標を毎月立てている。	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・グループセッション、共同プログラムについてはできている。	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・セッションごとの振り返りから新たな課題を洗い出し、常に工夫してセッション内容を考えている。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	0	1	0	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%	・支援計画に明確に記載していないが、日々のフィードバックでお伝えするようにしている。	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・グループセッションや共同プログラムについてはできている。 個別セッションでも指導員同士で支援内容など共有することができている。	
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・特にねらいに対して工夫した点、達成度、次回以降工夫できる点など共有し、必要があれば職員間で今後の対応を話し合っている。	
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・「ことば」「からだ」「こころ」について特に継続的に記録を付け、次月目標設定や個別支援計画に活かしている。		
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	1	0	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	・京都方式の対象ではないため、そのような会議があるのか分からない。	・周知不十分な部分については、共有方法を検討し改善を図ります。 ・現在行なっている連携については引き続き継続してまいります。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・関係機関との連携はより深めていきたい。	・保育所等訪問支援事業の開始も含め、ご家庭の支援となれる方法を今後も模索してまいります。
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・電話での情報共有、園への見学、園の先生方のスクール見学などを行い、積極的に連携している。	
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%		
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	1	0	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	・機会があれば連携したい。また助言や研修を受けたい。 ・外部研修に積極的に参加する職員もいる。 ・研修の機会を設けていたが、コロナ感染拡大のため中止となった。時期を見て今後も機会を設けたい。（クリニック見学など）	
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	0	5	2	0	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	・京都方式の対象ではないため、そのような会議があるのか分からない。	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・保護者との振り返り時や事業所内相談支援で伝えあい、またどの職員も共通理解を持てるよう共有している。	
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・コドモンアプリの積極的活用の継続をし、スクールからの発信をより身近に感じて頂けるよう取り組んで参ります。
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・保護者との振り返り時や事業所内相談支援で相談に応じ、必要があれば職員全体で内容を共有し、話し合ったうえで助言・支援を行っている。	
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・事業所内相談支援を始めた。	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・「コドモン」の活用。	
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・実際にどのように行動するかのシミュレーションを行っている。	・必要に応じて、服薬・予防接種についての記入欄を設けるようにいたします。（入所時・支援計画作成時など）
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・アレルギー児、一覧表を作成。 ・予防接種についてはあまり把握していない。	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		